

西暦 2026 年 2 月 3 日

これまでに気管支鏡検査(クライオ生検)を受けた患者さんへ 【過去の診療データ(カルテ、画像、病理結果)の調査研究への使用のお願い】

神戸市立西神戸医療センター呼吸器内科では「1.7mm バルーンカテテル併用と 1.1mm ガイドシース併用クライオ生検の検討：後方視的解析」という臨床研究を行っております。この研究は、肺の組織を採取する「クライオ生検」において、使用する器具（1.7mm プローブと 1.1mm プローブ）や麻酔方法の違いが、検査の安全性や診断の正確さにどのように影響するかを調べることを主な目的としています。そのため、過去に当科でクライオ生検を受けた患者さんのカルテ等の診療データ（画像、病理結果、手技記録など）を使用させていただきます。

以下の内容を確認してください。

- この調査研究は神戸市立西神戸医療センター倫理委員会で審査され、院長の承認を受けて行われます。研究期間は以下のとおりです。
調査対象期間： 西暦 2025 年 5 月 1 日 ～ 西暦 2026 年 4 月 30 日まで
データ収集期間： 倫理委員会承認後 ～ 西暦 2026 年 5 月 15 日まで
- 今回の調査研究の対象は、上記調査対象期間に当科において経気管支肺クライオ生検（TBLC）を受けた患者さんのカルテ情報、レントゲン・CT 写真、病理組織診断結果です。
- 過去のデータ（年齢、性別、病名、検査時間、出血等の合併症の有無、診断結果など）を使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、データを使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。
- 使用するデータは、個人が特定されないよう匿名化を行い、個人情報に関しては厳重に管理します。
- 調査研究の成果は、学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人を特定するような情報が公表されることはなく、個人情報は守られます。
- 調査研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は神戸市立西神戸医療センターに帰属し、あなたには帰属しません。
- この調査研究は、特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。

もし、今回のデータ使用について同意をいただけない場合には、西暦 2026 年 5 月 15 日までに、お手数ですが下記の問い合わせ先まで連絡ください。また、同意の有無が今後の治療などに影響することはありません。

【問い合わせ先】

神戸市立西神戸医療センター 呼吸器内科（職種）医長

研究責任者：桂田 雅大

Tel. 078-997-2200（代）